

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等ディサービス SOALA宇美校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 12月 17日		2024年 12月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様や関係機関との信頼関係の構築を大事にしております。 日々のやりとりのなかでみえてきた成長や課題を共有し、連携した支援を心掛けております。	送迎や面談時において保護者様との対話の時間を意識的に設けています。そのなかで事業所内新聞や連絡アプリでの写真や動画も活用しながら、子育てについて気軽に共有できる関係性作りを努めています。 園などの関係機関に対しても月ごとに変化をまとめた支援報告を欠かさず行い、一貫した共通認識のもと支援にあたっております。	安心してご相談いただくため繋がりを強化し、多様なニーズにもお応えできるよう職員の傾聴・支援スキルの向上を継続して参ります。ご家庭にて役立つ情報の発信も実施し、お子様のご成長に寄り添って参ります。
2	保護者様と一体的に進める支援の場、ご家族様同士の交流の場を設けています。	毎月2回以上、保護者様参加型のイベント「そあらのひろば」を開催しております。兄弟児や親族、以前SOALAを利用していた方にも参加いただき多様な方々との交流の場になっております。	誰もが興味を持って参加しやすい活動や環境設定であったか、フィードバックをし次の活動に繋げていきます。活動自体が保護者様同士の繋がりを支えている地域に開けた活動である認識を深め、周知もして参ります。子育てにおいて、安心した資源の1つとなるような環境作りを担います。
3	活動プログラムを固定化せず、随時ご家庭でのご様子を反映した支援をご準備しております。事業所ならではの様々なものに挑戦できるような環境を整えています。	個別的な観点でそれぞれに合わせた教具や環境をご準備しています。また、活動プログラムには心理担当職員や理学療法士による運動・情緒面の支援を取り入れています。開放的な庭を使った五感に触れる活動や、地域の外部講師による活動といった、実践的に学べる環境作りを努めています。	個別支援計画との照らし合わせを適宜行い、お子様の成長や変化に応じてより良い支援を検討、試行して参ります。専門的な職員による多様な支援を組み込み、お子様それぞれにあわせた活動を保護者様と共に作りしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な地域の方と活動する機会をより積極的に図って参ります。	活動場所を戸外に移し地域の方と触れ合う機会はございましたが、活動時間や場所が限定的で、ご家庭への周知もより一段と増やすことで伝わりやすくなると分析いたしました。計画的な実施や連携先との調整も図っていきます。	地域の社会資源を有効的に活用し、地域との交流が促進される活動を調整していきます。 また、所属する自立支援協議会や児童部会への継続的な参加をし、地域に根差した活動への参画を担って参ります。
2	各種マニュアルや防災に関する取り組みをした際、多くの方に周知できるような体制を整えます。	事業所に準備しているマニュアルや毎月実施している訓練の詳細が、保護者の皆様に充分に行き届いているか把握不足でございました。従来のご契約時や送迎時、全体的な周知としてのSNSや新聞に加え、新たな取り組みを設けていきます。	イベント案内にて防災訓練の計画をお載せし、保護者会等でも活動後の様子を共有いたします。特定の訓練日だけではなく、日頃から防災意識を高める活動も実施いたします。 マニュアルや各種活動風景などは事業所内でも手の取れる場所へご準備をし、目に見える形での安心感としてご提供して参ります。
3			